

# 化学物質安全データシート (MSDS)

会 社 株式会社ニチレイバイオサイエンス  
 住 所 東京都中央区築地 6 - 19 - 20  
 担当部署 品質保証部  
 電話番号 03 - 3248 - 2208  
 FAX 番号 03 - 3248 - 2243  
 緊急連絡先 同上  
 作 成 2005 年 4 月 1 日  
 第 2 改訂 2010 年 8 月 10 日\*

MSDS No. 415161

製品名 ニューフクシン基質キット

品番	構成製品名	主な成分
415161		
- (1)	ニューフクシン溶液 (試薬 A)	ニューフクシン、塩酸
- (2)	活性化剤 (試薬 B)	-
- (3)	基質緩衝液 (試薬 C)	トリス (ハイドロキシメチル) アミノメタン
- (4)	基質溶液 (試薬 D)	ナフトール AS-BI リン酸ナトリウム

適用法令：労安法

成分の一覧及びその他の適用法令

番号	成分	その他の適用法令
1.	ニューフクシン	なし
2.	2N 塩酸	毒物劇物取締法：劇物 (10% 以下のため適用除外) 労安法：「文書交付の対象となる物質」政令第 18 条の 2 別表第 9 の 98 (0.1% 以上) *
3.	トリス (ハイドロキシメチル) アミノメタン	なし
4.	ナフトール AS-BI リン酸ナトリウム	なし

火災時の措置	消火方法	
	消火剤	関係者以外は安全な場所に退去させ、火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。消火作業は風上から行い、状況に応じて呼吸保護具を着用する。 粉末、炭酸ガス、乾燥砂

漏洩時の措置	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入を禁止する。少量の場合は、土砂等に吸着させて取り除くか、大量の水で洗い流す。大量の場合は、土砂等でその流れを止め、これに吸着させるか、又は溝、ピット等に集め回収する。そのあとを多量の水を用いて洗い流す。その際は、必ず保護具を着用し、風上から作業する。この場合、濃厚な排液が河川等に排出されないように注意する。火気厳禁とし、通気換気をよくし、ソーダ灰で覆い、混ぜて水でスプレーする。もし、ガスが発生したら反応が終わるまで待つ。ガラス容器に吸い取り注意して同量の次亜塩素酸カルシウムを加える。激しい反応が起きる場合がある。さらに水を加えて放置し、中和した後、多量の水で希釈して流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。</li> <li>・適切な保護具を付けて処理すること。付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火用器材を準備する。作業の際にはゴム手袋、防塵マスク、保護眼鏡等を着用し、皮膚に付着したり吸入したりしないようにし、風下で作業をしない。</li> </ul>

輸送上の注意	
	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。容器は直射日光を避け、2-8℃で保存し、輸送する。

MSDS No. 415161

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。  
含有量、物理化学的性質の値は保証値ではなく、記載の内容は随時改訂されることがあります。

## 1. ニューフクシン

### 物質の特性

単一製品、混合物の区別	混合物	
化学名	ニューフクシン	
	4-[(4-amino-m-tolyl) (4-imino-3-methylcyclohexa-2,5-dien-1-ylidene)methyl]-o-toluidine monohydrochloride	
成分及び含有量	-----	
化学式／分子量	C <sub>22</sub> H <sub>23</sub> N <sub>3</sub> .ClH	
化審法公示番号	-----	
CAS No.	3248-91-7	
国連分類	-----	国連番号 -----

以下の記載を省略した。危険・有害性の分類等、詳細な情報は不明。

## 2. 塩酸

### 物質の特性

単一製品、混合物の区別	混合物	
化学名	塩酸	
成分及び含有量	2N 約 7.6%	
化学式／分子量	HCl =36.5	
化審法公示番号	(1)-215	
CAS No.	7647-01-0	
国連分類	クラス 2.3	国連番号 2186

### 危険・有害性の分類

分類の名称	急性毒性物質、腐食性物質
危険性	各種の金属を腐食して、水素ガスを発生し、これが、空気と混合し、爆発を起こすことがある。
有害性	吸入した場合、のど、気管支、肺などを刺激し粘膜が侵される。皮膚に触れた場合、やけどを起こす。目に入った場合、粘膜が刺激され、失明することがある。
環境影響	データなし。

### 応急措置

眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。直ちに医師の手当てを受ける。洗浄はまぶたを広げ、眼球を動かして行う。
皮膚に付着した場合	着部の衣類を脱ぎ、触れた部分を多量の水で洗い落とす。皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
吸入した場合	新鮮な空気の場所に移し、毛布等で保温して安静にさせ、直ちに医師の手当てを受ける。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。
誤飲した場合	意識のある場合は多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当てを受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

### 取扱いおよび保管上の注意

取扱い	・蒸気を吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に接触しないように適切な保護具を着用する。
-----	--

保管		・容器は直射日光を避け、2-8℃で保存する。密栓して、冷暗所に保管する。
暴露防止措置	管理濃度 許容濃度 設備対策	----- ----- ・屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化、または局所排気装置を設置する。 ・取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。
	保護具	通常、保護衣、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用し、状況に応じて、送気マスク、空気呼吸器などを使用する。
物理／化学的性質	外観等 沸点 融点 溶解性	無色の液体 刺激臭 蒸気比重 ----- ----- 蒸気圧 ----- ----- 比重 1.01 水、エタノールに可溶
危険性情報	安定性、反応性	爆発性でも引火性でもないが、各種の金属を侵して水素ガスを発生し、これが空気と混合し爆発を起こすことがある。
環境影響情報		データなし
有害性情報	急性毒性 吸入： 経口： 腹腔内： 慢性毒性 がん原性 刺激性	マウス： LC50 1108 ppm／1H ラット： LC50 3124 ppm／1H ラビット： LCL0 4416 ppm／30M ラビット： LD50 900mg/kg マウス LD50 1449mg/kg 経口投与 ----- 変異原性 ----- ----- 粘膜等を激しく刺激し、失明することもある。
廃棄上の注意		攪拌しながら徐々に石灰乳などの溶液に加え中和した後、多量の水と共に流す。

### 3. トリス（ハイドロキシメチル）アミノメタン

#### 物質の特性

単一製品、混合物の区別	混合物
化学名	-----
成分及び含有量	トリス（ハイドロキシメチル）アミノメタンが含まれている。
化学式／分子量	C4H11N03
化審法公示番号	2-318
CAS No.	77-86-1
国連分類	----- 国連番号 -----

#### 危険・有害性の分類

分類の名称	分類基準に該当しない。
危険性	知見なし。
有害性	知見なし。
環境影響	知見なし。

応急措置	眼に入った場合	直ちに多量の水で15分以上洗い流す。直ちに医師の手当てを
------	---------	------------------------------

皮膚に付着した場合	受ける。 付着部または接触部位を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼でよく洗い落とす。
吸入した場合	新鮮な空気の場所に移し、直ちに医師の手当てを受ける。
誤飲した場合	意識のある場合は多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当てを受ける。

取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い	・ 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類への接触を避ける。
保管	・ 保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。 ・ 容器は直射日光を避け、2—8℃で保存する。

暴露防止措置

管理濃度	-----
許容濃度	-----
設備対策	・ 屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化、または局所排気装置を設置する。 ・ 取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。
保護具	通常、保護衣、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用し、状況に応じて、送気マスク、空気呼吸器などを使用する。

物理／化学的性質

外観等	液体	蒸気比重	-----
沸点	-----	蒸気圧	-----
融点	-----	比重	-----
溶解性	水に易溶		

危険性情報

安定性、反応性	直射日光に不安定。金属との接触により爆発性物質を生成する可能性がある。
---------	-------------------------------------

有害性情報

知見なし			
急性毒性	-----	慢性毒性	-----
変異原性	-----	がん原性	-----
刺激性	-----		

環境影響情報

魚毒性：水生生物に毒性作用を及ぼす。

廃棄上の注意

アジ化ナトリウムは水道管の銅、鉛などと反応して爆発する危険性があるので、本製品を排水管より処分するときは、大量の水と一緒に流す。または、廃棄物業者へ委託して処理する。

4. ナフトール AS-BI リン酸ナトリウム

物質の特性

単一製品、混合物の区別	混合物
化学名	-----
成分及び含有量	ナフトール AS-BI リン酸ナトリウム
化学式／分子量	C <sub>18</sub> H <sub>13</sub> BrN <sub>0</sub> 6PNa <sub>2</sub> · nH <sub>2</sub> O
化審法公示番号	-----
CAS No.	530-79-0

## 危険・有害性の分類

分類の名称	分類基準に該当しない。
危険性	知見なし。
有害性	知見なし。
環境影響	知見なし。

## 応急措置

眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	付着部または接触部位を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸でよく洗い落とす。
吸入した場合	新鮮な空気の場所に移し、直ちに医師の手当てを受ける。
誤飲した場合	意識のある場合は多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当てを受ける。

## 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い	・ 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類への接触を避ける。
保管	・ 保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。 ・ 容器は直射日光を避け、2—8℃で保存する。

## 暴露防止措置

管理濃度	-----
許容濃度	-----
設備対策	・ 屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化、または局所排気装置を設置する。 ・ 取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。
保護具	通常、保護衣、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用し、状況に応じて、送気マスク、空気呼吸器などを使用する。

## 物理／化学的性質

外観等	ほとんど白色～淡黄褐色の結晶性粉末
蒸気比重	-----
沸点	-----
融点	-----
溶解性	水にやや溶け、エタノール、アセトン等にほとんど溶けない。

## 有害性情報

知見なし			
急性毒性	-----	慢性毒性	-----
変異原性	-----	がん原性	-----
刺激性	-----		

## 危険性情報

知見なし

## 環境影響情報

-----

## 廃棄上の注意

可燃性溶剤に混合し、アフタバーナー、スクラバーを備えた焼却炉で少量ずつ焼却処理する。または、廃棄物業者へ委託して処理する。